

自民党看護問題小委員会 委員長
田村憲久様

令和 2 年度看護関係予算概算請求について

2019 年 8 月 認定看護管理者会
会長 佐藤 美子

予算要望事項

I. 働き方改革関連

1. 超過勤務時間削減のため、AI・IT 関連の導入について

看護記録に音声入力を導入し、AI 活用による看護業務を効率化するなど、IT などの積極的な試行機関への補助の検討（先端技術と看護のコラボへの予算化）。→特に電子カルテの導入時の補助金のような対応を希望

2. ワークライフバランスの充実

親の介護で離職する看護師の増加への対応が必要、特に 90 日枠の問題について大きい。施設への金銭的な補助により離職対応がなされないか。

特に、親の介護は、熟練看護師層が担うことになるので、子育て支援と同じように親の介護支援に何らかの予算の検討が必要

3. メンタルサポート・キャリアサポートへの対応

職員のメンタルサポート支援のための臨床心理士などのカウンセラーの配置予算
また、適応障害が疑われる状況になってからではなく、現在の大学教育で積極的に行われているキャリア・コンサルタント（2016 年国家資格）の導入により、就職直後やライフイベント（結婚・出産後・昇進・定年を意識する 50 代前半など）毎にキャリアの棚卸しができるよう、離職防止としても必要、そのための予算の検討

II. 看護業務への支援

1. 訪問看護事業所立ち上げ事務経費の補助と 1 年間の維持費の補助

訪問看護事業の新たな設置にむけての補助

2. 急性期病院で ADL を落とさないためのデイケア等の取り組み、認知症患者への高速や抑制を行わないケアに対しての補助

III. 看護師確保予算

1. 在宅と病院の連携で看護師がかかわる事での効果を評価する仕組み作りへの支援

2. 外来部門の看護師定数の見直しを行い、適正な看護配置基準を提案する。

看護師の適正化への調査研究費の獲得

以上

